

スマート・スーパーシティ部会（キックオフ）

2021年7月16日

内容について

■ はじめに

－ 部会メンバーについて

■ 活動方針について

－ 当面の活動目標やゴールイメージ

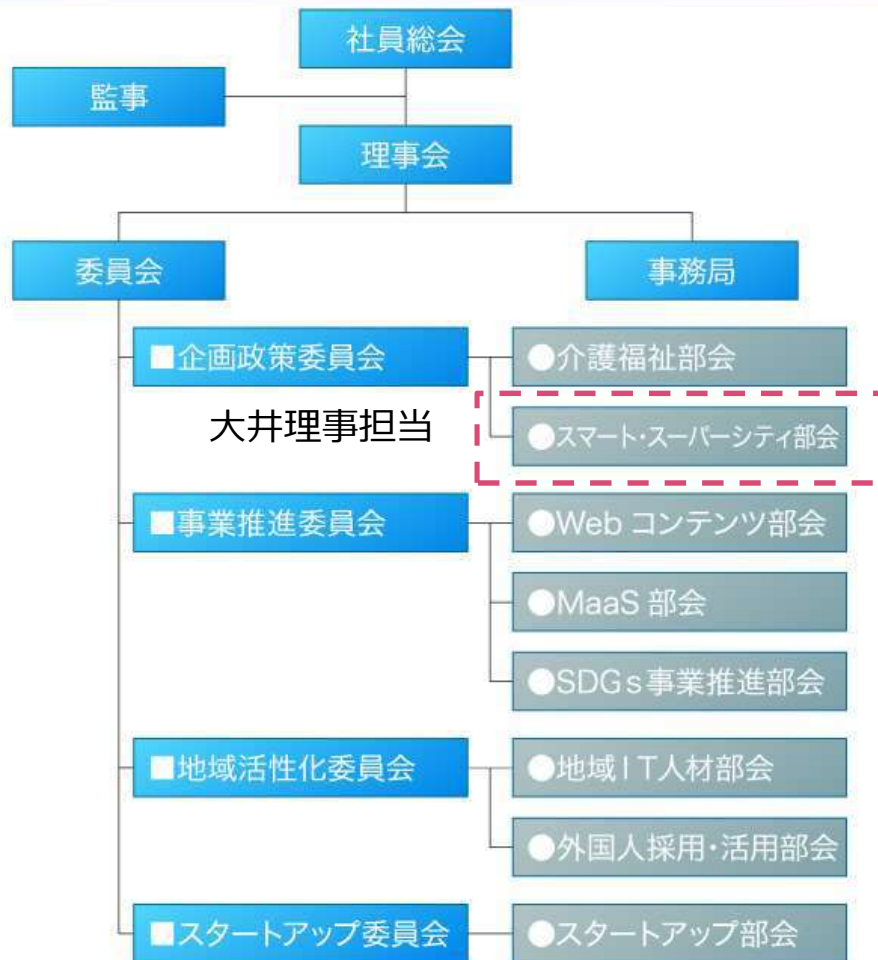
■ 今後の進め方について

－ 着実に（小さなことから）

負担なく持続可能な取組みを目指して

さっぽろイノベーションラボ内体制について

一般社団法人 さっぽろイノベーションラボ



※5/24定時社員総会議案書より抜粋

<部会長> ウェルモ
<事務局> TIS

<活動方針>

- ・医療・介護・交通の連携を柱としたヘルスケア事業
- ・住民と行政とのコミュニケーションを強化する事業
- ・観光客を拡大させるためのインバウンド戦略事業
- ・予防医療 介護 推進事業、次世代人材育成事業
- ・新たな雇用促進事業（担い手対策事業・企業誘致等）
- ・地域 IT・ICT ベンチャーの振興 及び IoT 関連事業

部会メンバー（2021年7月現在）

<顧問>

和田義明 内閣府大臣政務官



<部会長>

大井弘幸
(さっぽろイノベーションラボ理事/ウェルモ執行役員)



<副部会長>

藤澤義博
(さっぽろイノベーションラボ会員/公立はこだて未来大学
美馬のゆり研究室研究員)



<事務局>

事務局長：畑秀行
(さっぽろイノベーションラボMaaS部会長/TISフェロー)



事務局次長：牟田宗一郎 (さっぽろイノベーションラボMaaS部会事務局長/TIS主任)

事務局次長：堀部和史 (ウェルモ)

当部会の活動方針やゴールイメージ

<前提として>

・地元中心PoC等の実績づくり

スマートシティの取組み段階にて地元企業が中心となり、PoC含む実績づくりが必要（企画の大小問わず、着実に、負担なく持続可能な取組みを目指す）

・EBPMの企画と実践

各PoCを実施することで、EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング、科学的根拠に基づく政策立案）を実践し、政策立案機能の高度化を後押しすることで、中立公平な立場としての社団法人（当部会）の役割を果たしたい

<当面の注力領域>

①医療・介護・交通連携を軸としたヘルスケア事業

→道内他地域でも顕在化している社会課題解決に向けたモデル構築

②次世代人材育成モデル

→DX人材不足への対応と、課題解決力のある次世代教育モデル構築

(ご参考) 北海道の「ブランド価値」とは ※再認識と価値向上

- ・人口は約520万人都道府県順位8位、道内に12の空港あり、
面積日本国土の22%
- ・全国住みたい街ランキング調査では、毎年上位に札幌・函館などランクイン
- ・政令指定都市人口別で札幌は4位（横浜、大阪、名古屋、札幌、福岡）
- ・観光入込客数5千万全国1位（外国人2百万）、
温泉地2百以上全国1位
- ・Made in Japanより、Hokkaidoブランドの方が知名度高く、東南アジアに人気

<最近の傾向>

- ・人口は、札幌への一極集中（札幌197万、旭川33万、函館25万）
- ・2020年1月、道内7空港民営化
⇒「新千歳空港」⇔「羽田空港」間が世界一忙しい路線
- ・IC交通乗車券「**SAPICA**」発行が**180万枚**を突破、人口比高い保有率
- ・2023年、北海道ボールパーク開業
⇒JR新駅2027年開業、マンション等も建設、小さな街が誕生する
- ・2030年、北海道新幹線「札幌駅開業」
⇒東京～新函館北斗駅まで約4時間、札幌へは2030年度開業目指す
- ・2030年、「オリンピック」誘致へ
⇒2021札幌マラソン競技開催、2030冬季オリンピック誘致目指す



必要不可欠な【エンジン】

①「地域マーケティング（ブランド）」 × ②「地域データプラットフォーム」



地元をお金が還流、還元されるとは



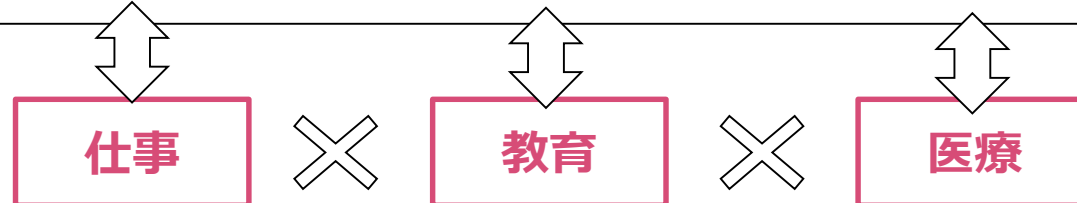
お金が動き （個人/法人） （自治体）
・個人の場合：収入、所得 → 住民税
・法人の場合：売上、利益 → 法人税



お金もデータも地産地消（地域経済好循環システム）

地域（経済）に確実にお金やデータが還元されることが重要

地域の評価軸



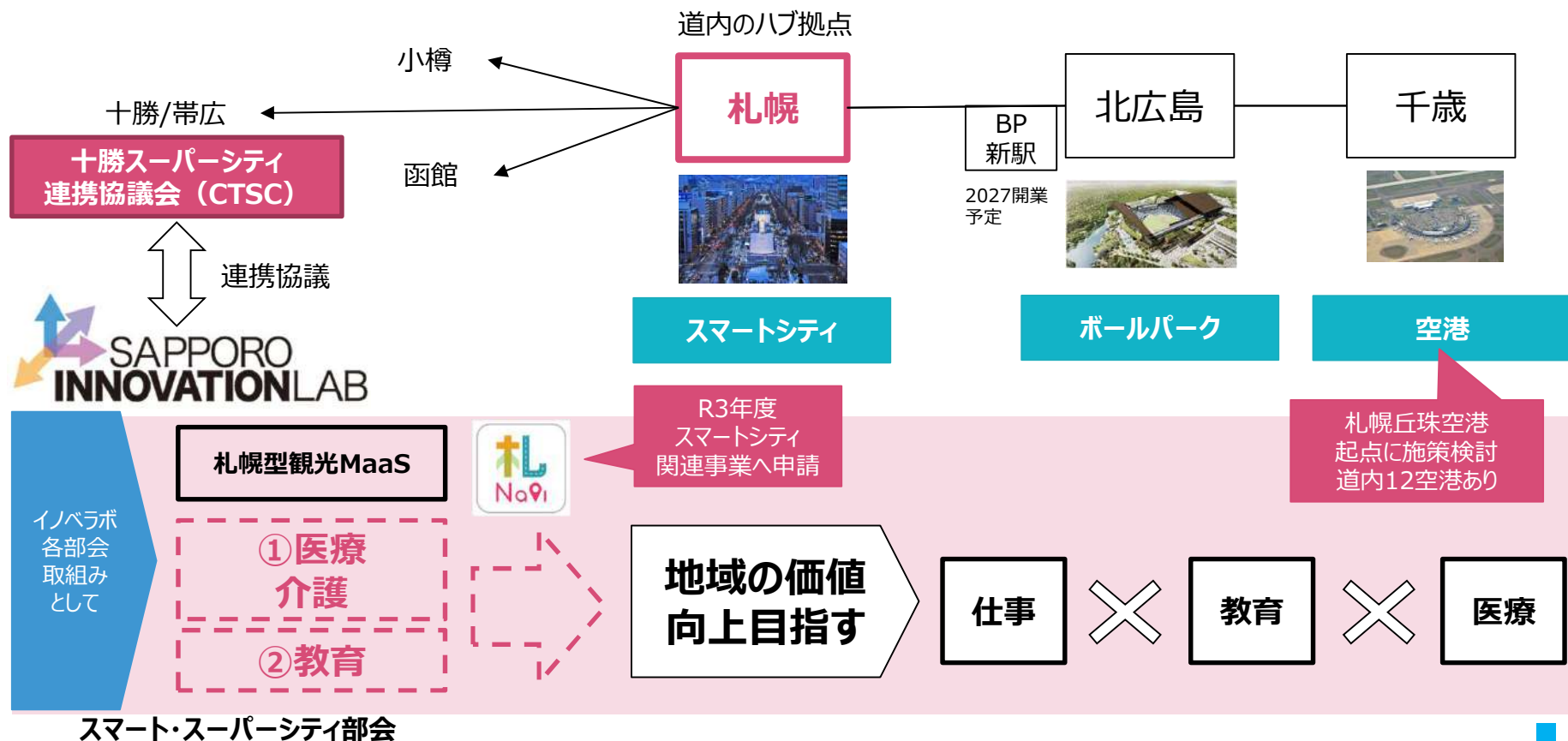
2030年までのロードマップイメージ

道内の大型イベント



道内ハブ拠点である「札幌」を中心に広域連携を推進

⇒観光をはじめ医療・介護等のデータ利活用することで、**新ビジネス創出**



■ 札幌型観光MaaS事業「札Navi」とは

ユーザーの趣味趣向データから潜在ニーズを可視化し、札幌市内の観光情報と複雑なバスや地下鉄等の乗り継ぎ情報を連携させ、ユーザーの所有時間（空き時間等）に対して最適な観光地・旅程をレコメンド

■ 実証期間

2021年2月1日-2021年2月21日

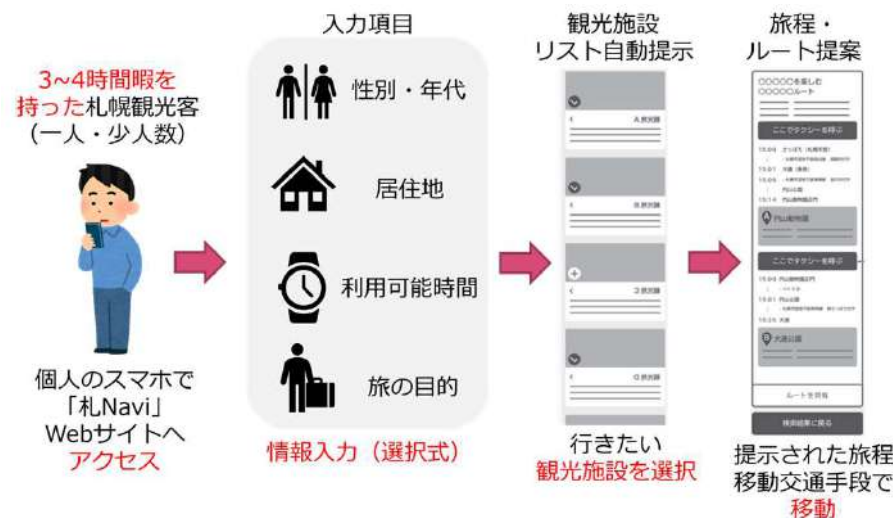


■ 利用方法

自身のスマートフォンで「札Navi」Webサイトにアクセスすることで誰でも利用が可能（ダウンロード不要）ユーザー登録を必要しない（個人情報取得なし）

■ ユーザーメリット

- ・自身に最適な観光情報がレコメンドされる
- ・観光スポットまでの移動手段が自動で提示され、旅程が自動で生成される



札Navi推進メンバー

(札幌型観光MaaS推進官民協議会) ※順不同

- ・株式会社HAJエンパワメント
- ・一般社団法人さっぽろイノベーションラボ
- ・一般財団法人さっぽろ産業振興財団
- ・札幌総合情報センター株式会社
- ・札幌AIラボ
- ・札幌市
- ・公立大学法人札幌市立大学
- ・株式会社JTBC 北海道事業部
- ・株式会社ドーコン
- ・平岸ハイヤー株式会社
- ・一般社団法人北海道開発技術センター



スマート・スーパーシティ部会

<部会長>



<事務局>



次世代を担う子どもたちのために、
未来は子どもそのもの